第34回全国小学生ハンドボール大会に係る質問・問い合わせについて

令和3年6月10日
全国小学生ハンドボール大会事務局作成

新型コロナウイルス感染症関連

Q1：大会中止の判断のデッドラインは決まっていますか？

A1：大会開催可否の判断は参加申込締切時（6月27日（日））に行います。大会中止の判断は、大会日を含めて京都府に緊急事態宣言、京田辺市に蔓延防止などが出された時です。また、参加申込締切日まで申込みできない場合は、事務局に個別で相談してください。

Q2：緊急事態宣言がでた場合、開催するのか？

A2：大会日を含めて京都府に緊急事態宣言が出ている場合は、中止します。

Q3：全国小学生大会の実施、中止はどのタイミングで決まるのか？

A3：参加申込締切時点で判断するとともに、大会日を含めて京都府に緊急事態宣言、京田辺市に蔓延防止が出ている場合。

Q4：会場での感染予防対策をどのように徹底していくのか？
Q5：コロナ発生件数が少ない都道府県が県外へ行くことのリスクも非常に大きい。もしものことがあった場合に「ここまで感染症対策をやってました」と言える状況であってほしい。

A4・5：日本協会のガイドライン及び京田辺市の独自対策を合わせて、大会運営マニュアル（コロナ対策）を作成し、対策を徹底します。

Q6：状況によっては直前での不参加（自チーム判断又は県協会判断）のご理解と配慮。また宿泊施設の理解（前々日まではキャンセル料無し等。）

A6：自チーム・都道府県協会と十分に協議いただき参加の有無を判断してください。
キャンセル料については、宿泊・弁当要項をご確認ください。（近日中にHP掲載予定）

Q7：大会主催者側の出来るだけ早めの判断をして、大会開催なのか、中止なのか、ブロック別の代表による大会になるのか等を、決断して頂きたい。

A7：主催者側としては、十分に対策を実施し、都道府県代表による大会を開催する予定です。

Q8：代表者会議はバス駐車場なしとあるが、何故か。

A8：関係者以外の参加を制限し、会場周辺の密を避けるためです。

Q9：各チームへのお願い等があれば、相当な厳しい条件・規定だとしても遠慮なく言ってもらいたい。

A9：参加チームへの制限、協力依頼は、7月 中旬頃に行います。

Q10：代表チームに感染があった場合、2位のチームの参加は認められるのか？

A10：各都道府県代表であり、参加申込締切時（6月27日（日））までは申込各都道府県の判断に任せます。

Q11：保護者及び応援者は1チーム上限30人とのことだが、その範囲は？

A11：ベンチ入りされない役員、保護者（両親に限らず祖父母等含む）、子ども等。

競技関連

Q1：気温が 30 度超になれば外練習不可等のアップなしで試合に臨む身体的リスク

A1：コロナ対策も含めて、例年より長い試合間練習を認めています。

Q2：アップ会場の場所がほしい。

A2：コロナ対策も含めて、例年より長い試合間練習を認めています。

Q3：熱中症のリスク、対策

A3：会場は空調設備のある体育館になります。それでも、熱中症指数が高い場合は、給水タイム等を設けるなど対策を行います。

Q4：男女別会場での輸送計画

A4：男女で同一チームの参加の場合、会場間の移動は各チームで対応ください。

開催時期について

Q1：時期の見直しについて（秋の開催や 8 月開催でも下旬ごろ等）

A1：これまで時期の検討は行ってきましたが、京都府・京田辺市で行う場合、この時期になります。

Q2：8月の京都の大会は今後も継続できるのか？（会場・気温）

A2：同規模・同内容の大会であれば、一定の期間継続できると考えています。